



el faro

pabellón
de iniciativas
ciudadanas

2008
7/14-27



Japón

2008
7/14-27



EXPO 2005 Aichi Japan

愛知万博



シンボルマーク

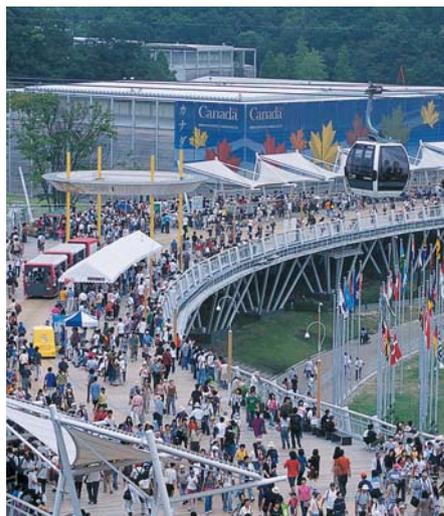


愛称ロゴタイプ



公式キャラクター

地球的課題の解決に貢献する国際博覧会として、愛・地球博は「自然の叡智」をテーマに掲げた。これには、人間は自然の一部であることを認識し、自然が本来有しているすばらしい仕組みや生命の絶妙な営みを謙虚に学び、自然と人間との関係を見直して、自然と調和した新しい文明の構築を目指すという強い意志がこめられている。



テーマの具現化

最先端技術の摘要 (技術によるブレイクスルー)

- 新エネルギーシステム
- 環境技術
- 新交通システム
- 次世代ロボット
- ITの技術的活用
- 最先端映像システム

新たな社会行動やシステムの採用

- ごみの9分類
- EXPOエコマネー
- 環境に配慮した建設とユニバーサルデザイン
- パーク&ライドの採用
- エコツアー・森林体験プログラム
- IT活用による情報サービス

多様な文化・価値観の共有

- 歴史・文化・民族と多様性を示す展示や催事
- ナショナルデーと自主催事
- フレンドシップ事業
- スタッフ間交流
- 愛・地球メッセージ・イベント

NGO/NPO市民の参加

- 地球市民村
- 市民パビリオン
- 海上広場
- 市民参加イベント
- ボランティア



14
MON.

11:00-13:00
愛知万博チーム
オープニングセレモニー

15:00-17:00
愛知万博チーム
プロのミーティング
に4607円

18:00-20:00
愛知万博チーム
コンサート

15
TUE.

16
WED.

17
THU.

18
FRI.

19
SAT.

20
SUN.

15:00-17:00
NGOユニット
ライブメッセージ

15:00-17:00
ジャパンデー 前夜祭

20:00-22:00
国際シンポジウム

17:30-19:30
NGOユニット
プログラム：4コーナーでのワークショップ・ラフトミニレクチャー

10:00-13:00
NGO交流ミーティング

10:00-20:00
NGOユニット
地図の展示・デモンストレーション・NGO団体の紹介

日程 2008.7.21-27	円形劇場	フレキシブル ルーム	展示
21 MON.	<p>13:00-15:00 「シヤハン」コンサート</p> <p>15:00-17:00 日本の伝統楽器</p> <p>17:00-19:00 日本スズハイソ合同 コンサート</p>		
22 TUE.			
23 WED.			
24 THU.			
25 FRI.			
26 SAT.			
27 SUN.	<p>15:00-17:00 市民ユニットの成果 交流対話</p> <p>20:00-22:00 愛知万博サーム クローキングセレモニー</p>	<p>17:15-20:00 市民ユニット ワークショップ(を)をり織り、ちぎり絵うちわ、折鶴メッセージ</p>	<p>10:00-20:00 市民ユニット 展示(五感で感じる人と水)</p>

14

オープニング・セレモニー &コンサート

愛・地球博市民参加出展の幕開けを、NGOユニットとミュージシャンで盛大に祝います。11時から、日本の先住民族アイヌの自然界の神々に祈りを捧げる儀式を竹楽器等の音楽が包み、15時から、NGOユニットを構成する13のNGOがその活動や出展プログラムを紹介します。そして18時から、日本やアジアの歌や踊り、竹楽器やフルート、ギター、三線（さんしん）などのコンサートで祭りの始まりを盛り上げます。



14-20

展示

自然界を循環する水の通り道である川がつなぐ自然豊かな「森」、実りをもたらす「里」、人々が住まう「街」、世界へ広がる「海」、その4つのステージを舞台に水と人々や生物の関連をグラフィック展開し、日本の自然観、生活事情、活動等を表現します。

また、その4つのステージにかかわる13のNGO団体の活動やメッセージを映像で紹介します。



14-20

円形劇場

日本での水に関する課題、取り組みやメッセージを「森」「里」「街」「海」を切り口として、映像プレゼンテーションやクイズ形式で行います。最初は音楽で楽しく始まり、最後は日本の水文化を伝えるおもてなしのティーセレモニー、墨で大きな文字を書く大書のパフォーマンスなどで参加型の交流を図ります。



14-20

ワークショップ

「森」「里」「街」「海」の4つのゾーンに分けてクラフトワーク、ミニレクチャー、クイズ等を日替わりで実施します。子供から大人まで楽しみながら「水」に親しむワークショップを展開します。

【森】

「森林から考える水の流れ」

「間伐材でマイ箸をつくろう」

「森の恵みでエコロジーARTを作ろう」

【里】

「作って鳴らそう!カリンガ族の竹楽器ワークショップ」

「稲わらかタツムリをつくろう」

「和のしみ染め〜マトリクスポテンシャルを知ろう〜」

【街】

「墨を磨って漢字を書こう」

「お煎茶でもてなし心をつなぐ」

「うちえんぴつづくり」

【海】

「ねんどでイルカをつくろう」

「漂着物は宝もの」

「アイヌ紋様(渦紋)切り絵講座」

※内容が変更になる場合がございます。



20

ジャパンデー・プレイベント

ジャパンデーの前日に、出展者も来場者も一緒になって、竹の楽器で共にリズムを練習しながら、大きな演奏へと練り上げていきます。サクセスや尺八や歌など、ミュージシャンとのセッションも楽しめます。



21

ジャパンデー・イベント

日本館他でのジャパンデー催事と呼応し、出展者全員とミュージシャンでジャパンデーを祝います。まず、バンブーオーケストラを中心に、観客を巻き込み一体となる参加型のコンサートが始まります。愛知万博チームの出展2週間の中日でもあり、前半のNGOユニットは成果を報告して別れを惜しみ、この日からの市民ユニットは出展やメンバーの紹介をするなど、出展者全員で引き継いでいきます。また尺八、サクセス、竹楽器、歌など、ミュージシャンの演奏で次第に盛り上げ、徐々に全員で祝い祈るフィナーレへと高めていきます。



20

国際シンポジウム

持続可能な社会のために市民・NGOができること

愛・地球博での万博史上初の市民参加の成功が、サラゴサ博の市民主導パビリオン「エル・ファロ」に展開します。日本からのゲストが愛・地球博の市民参加の意義やその後の実社会への展開について語り、エル・ファロを支えたスペインの2つのNGOが、その意義や今後の展開を語ります。そして持続可能な社会のために市民やNGOができることについて、全員で語り合います。初めと終わりには、音楽で日西の交流を図ります。



21-27

展示

2005年、日本で行われた「愛・地球博」は、過去150年の国際博覧会史上初となる“市民”が主役となった出展がなされ、「21世紀の時代のエンジンは“新しい人=市民”である」というメッセージが生まれました。

そして2008年、スペインのサラゴサ博でも日本の市民が参加することとなり今回は「日本の水の愛し方」をテーマに、“見る・聴く・触る・嗅ぐ・思う”の五感で「市民によるつながり=市民力」を体感できるような展示を実施します。

水滴、一滴一滴のように、あなたとわたし、皆さんと私たちがこの万博で出会い、そしてつながり、一緒に21世紀の時代のエンジンになっていきましょう。



22-26

円形劇場

「水の怒り・水の恵み・水の未来」のテーマで制作された『龍夢』は、数百年昔にタイムスリップした少年が、暴れ川を鎮めるために水神の生贄に選ばれた少女を救おうと現代の水辺を旅する冒険物語です。日本の水辺の問題とその市民活動に焦点を当てながら、朗読・漫画・映像・伝統楽器による音楽で物語を表現しています。

幕間には生け花・天然染色・伝統楽器の実演を盛り込んで、日本人の営みと環境保全とをつなぐ複合パフォーマンスを実現。愛・地球博に参加した様々な分野の技能を持った市民が企画・制作から実施まですべてを手掛けています。舞台は日本の山・川・里・海、キャストは市民で、漫画キャラクターの伝統衣装や演出小道具も一見の価値あります。



21-27

ワークショップ

日本の素材に触れながら、水への思いを形にするワークショップを、フレキシブルルームで実施します。

さをり織りを用いた「織る」作品や、和紙のちぎり絵を用いた「貼る」作品、折り紙を用いた「折る」作品など、あなたのメッセージがこもった色とりどりの作品を作ってください。フレキシブルルームでお会いしましょう。



27

円形劇場

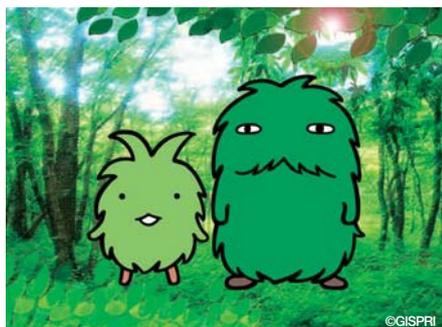
最終日には、複合パフォーマンス『龍夢』の制作過程や、会期中に生まれたスペインと日本の市民によるコラボレーションの成果を発表し、持続可能性への学びに対して本出展がどのような意義を持ったのかを総括します。



27

クロージング・セレモニー 円形劇場

国際博覧会史上初めて市民参加を成功に導いた「愛・地球博」参加者が、水問題の解決に不可欠な「人と人」「人と水」の関係性を築いた、エルファロ出展のフィナーレを飾るステージプログラムです。かつて、水の恩恵を授かると共に自然災害と戦い続けた日本人が、いかにして危機を乗り越え、市民活動という新しい時代のエンジンを創出してきたのか、記録映像や音楽、パフォーマンスを通して伝えます。また、最後にはスペインと日本との新しいつながりを祝して、ご来場のみなさんとの合唱を予定しています。ぜひお集まり下さい。



万博史上初の市民参加事業を成功させた愛知万博

日本のNGO/市民が7月14日から27日までの2週間、エルファロにやってきました。テーマは、「水と持続可能な開発への日本の市民からの提案」。日本のNGOや市民がどのように水の問題をとらえ、取組み、また愛しているか、について、展示と円形劇場とワークショップで、楽しく多彩に展開します。日本の伝統を活かしたアートやコンサートなど催事もたくさん。日本で始まった市民参加の新しい伝統(レガシー)をサラゴサ以後の万博に引き継ぐ国際シンポジウムも企画しています。

NGO ユニット (July 14-20)

- 社団法人北海道ウタリ協会釧路支部
- おかざき匠の会
- 自然エネルギー推進市民フォーラム (REPP)
- 財団法人キープ協会
- 日本トイレ協会
- 社団法人国土緑化推進機構
- 特定非営利活動法人中部リサイクル運動市民の会
- 特定非営利活動法人生態教育センター
- 国際イルカ・クジラ教育リサーチセンター
- 特定非営利活動法人ソムノード
- 特定非営利活動法人NPO birth
- エコマネーセンター
- NPO法人 あらかわ学会

コミュニケーター

- 吉田 舞
- 茶谷 泉
- 田中 靖大
- 上原 なつき
- ダニエル サルボ
- 榎原 孝佐(愛・地球博ボランティアセンター)



市民ユニット (July 21-27)

市民ユニットは、愛・地球博の第3のエンジンとして参加した市民が水問題の解決に不可欠な「人と人」「人と水」の関係性を築くために日本の水の愛しかたを伝えます。

市民ユニット3つのチーム

■ 展示チーム

- 太田 征樹
- 太田 稔
- 木村 翔平
- 近清 武
- 清水 浩子
- 高橋 英次
- 高橋 佑司
- 野口 豪
- 早川 雄大
- 福田 誠一郎
- 松井 公子
- 水谷 綾子
- 水谷 知宏
- 村瀬 洋子
- 森川 祐喜
- 山本 枝実
- 横山 将基
- 小林 裕紀
- 鈴木 里佳

■ 対話パフォーマンスチーム

- 大橋 香代子
- 岡田 エツ子
- 岡野 由美子
- 奥山 翔園
- 加藤 淑翠
- 加藤 仁一
- 川田 幸男
- 木村 晴代
- 木村 美保子
- 斉藤 豊一
- 柴田 玲甫
- 能村 弓恵
- 野々垣 直美
- 古澤 礼太
- 浅井 栄子
- 飯田 知恵子
- 鈴木 紀子
- 野口 久
- 平松 幹夫
- 前田 康雄
- 村瀬 俊幸
- 山内 久和
- 渡邊 睦
- 横井 園子
- 横井 和歌子

■ ワorkshopチーム

- 天野 温文
- 内田 和枝
- 加藤 喜代子
- 佐橋 妙子
- 佐橋 純照
- 庄子 由紀
- 杉浦 久枝
- 須藤 弘子
- 高芝 孝子
- 竹河 いみ子
- 野田 岳仁
- 早川 芳乃
- 廣岡 照美
- 安田 奈央
- 吉永 章子

